

山部小学校で 板倉区 閉校式



来春、針小学校・宮嶋小学校とともに新設の板倉小学校に統合される山部小学校で14日、閉校記念式典が行われました。上野議員が出席しました。

市民の要望もあつての統合ではありますが、地域の拠点が失われることとなります。また、各学校はそれぞれ小さくても輝いている学校であるだけに、統合や再編への評価や議論を深めることが必要です。

写真は「上越妙高タウン情報」より

来年度への予算要望を

みなさんの率直な声を反映させた要望を作成中です。ぜひあなたの声をお寄せください。(下記連絡先へお気軽にどうぞ)

上越保健所管内感染症患者発生状況

(11月6日現在)

PCR検査実施件数 2,697件(前週+65)

感染症患者数 15人(上越市内14人)

陽性率 0.56%

日本共産党上越市議員団ニュース

No.683 2020年11月22日

連 橋爪 法一 090-5392-1961(吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407(頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919(上中田(金谷区))

新生児への特別定額給付金支給など5項目

党議員団として緊急提言

人口減少対策特別委員会に向けて

合併以来1割もの人口減少に見舞われている上越市にとって、少子化・人口減少問題の解決は喫緊の課題です。市議会では人口減少対策特別委員会を設置し、行政に対する政策提言を行うべく審議を重ねています。

この特別委員会には、日本共産党からは委員が出ていませんので、当議員団として独自の提言をまとめ、このほど武藤正信委員長に提出しました。

提言では、はじめに党議員団としてこの間多くの市民の声を基に検討を重ねて来たことを紹介し、「少子化・人口減少問題は、基本的には既婚夫婦の子育て支援に加え、未婚の若者に照準を定めた正規雇用の促進、長時間労働の是正、賃金待遇の改善などに重点を置いた施策が求められることはいままでもない」と指摘しています。

そして、「市独自に緊急に実施できる事項も多く、来年度予算の編成に取りかかっているこの時期に合わせて、早急に実現を図るべき点も少なくない」として、次の各点を政策として提言しています。

1. 国の特別定額給付金の支給対象になつていない新生児につき、市として特別定額給付金を支給すること。支給対象は、2020年4月27日時点で住民基本台帳に

記載されておらず、その後、2022年4月1日までに出生または届け出た児童とすること。

2. インフルエンザ予防接種の助成対象を拡大すること。現在、65歳以上の高齢者は、インフルエンザ予防接種の助成対象になっていません。反面、2回の接種が必要で保護者負担が大きな子どもは対象になっていません。そこで、子どもを含めた多くの市民を助成の対象にすることが求められています。なお、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、多くの自治体で助成制度が広がっています。

3. 認定こども園・保育所・幼稚園における給食費を、少なくとも国の公定価格額以下に引き下げることを。国の給食費の公定価格額は月4500円です

4. 小中学校の就学援助の対象世帯収入の基準を、生活保護基準の1.4倍にすること。小中学校に在籍する子どもの教材費や給食費などを支援する就学援助制度の対象は、現在、生活保護基準の1.3倍になっていますが、その生活保護基準がこの間大きく引き下げられ、それに伴って就学援助の対象も狭められています。また、ボーダーライン上の世帯の困窮の度合いも増えています。そこで、基準を緩和して必要な低所得世帯が対象になるようにすることが必要です。

5. 教材購入費・PTA会費など、小中学校における学校徴収金等の保護者負担額の軽減をはかること。

義務教育は無償であるはずですが、実際には教材費や給食費など多くの費用が保護者の方にのしかかっています。だれもが安心して学べるように、保護者の負担を引き下げるべきです。

オスプレイも参加し、日米が共同軍事訓練を計画 12/7~18に関山演習場などで

上越・妙高両市は市長・議長名で要望書を提出

陸上自衛隊は13日、来月7~18日に関山演習場や群馬県の相馬原演習場などでアメリカ軍海兵隊との共同軍事訓練を行うと発表しました。実施まで1ヶ月を切る中での突然の発表です。

2017年3月に引き続くもので、今回も“欠陥機”オスプレイMV-22が参加するとしています。

上越市と妙高市は、各市長と議長が連名で北関東防衛局に対して、「あらゆる事態に対応可能な万全の体制を整えること。市民に対し最大限の情報提供を行うこと」などの要

望書を提出しました。しかし、危険な軍事訓練は、やめさせることがなによりです。危険な訓練をやめさせるため、みなさんの声を合わせましょう。